



着物や帽子を着用したところを3Dスキャンで撮影し、CGで作成した銅像のデザイン(上と左下)

銅像と台座の大きさを表したデザイン(右下)



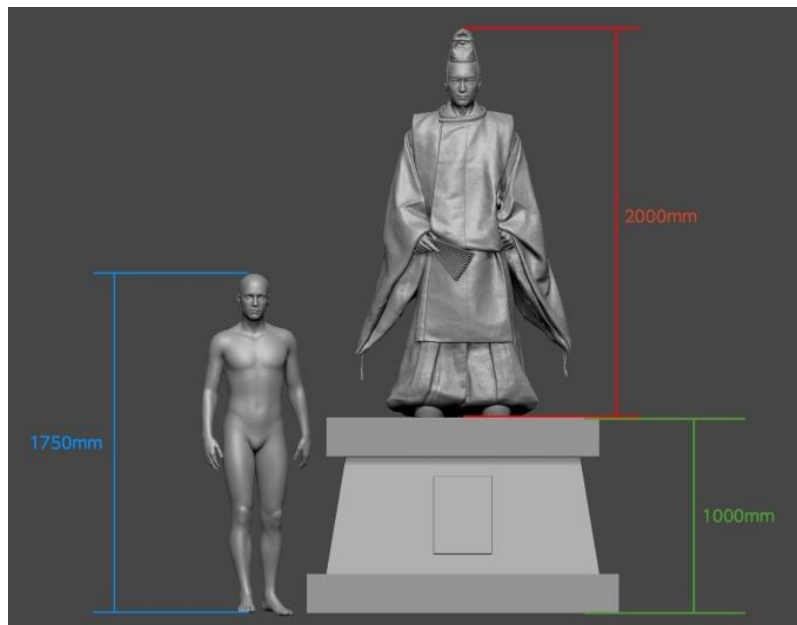
CGや3Dプリンター 先端技術を活用

牧之原市では、2019年の田沼意次侯生誕300年を契機に、功績の顕彰や市民の誇りの醸成につなげることに、「田沼再興」の象徴・聖地として市内外に発信するため、全国初となる銅像の建立を目指して取り組んでいます。令和2年11月に募金が目標金額を達成し、現在、銅像デザインの作成を進めているところです。

デザインは、相良藩主に就任した40歳前半を想像して描いたとされる、牧之原市史料館所蔵の肖像画をモデルとしており、実際に「狩衣」の衣装を着た人物を3Dスキャンで撮影し、CGで作成されます。

デザインの決定後、3Dプリンターによりマスター原型を製作し、鋳造作業に入ることになります。銅が固まるまで約3ヶ月かかるため、除幕は5月下旬を予定しています。

「田沼意次侯銅像」 除幕に向け製作進む



<12/4 から 1/21 までに募金いただいた皆様> ご支援、ありがとうございました! ※五十音順
※11/30 までに募金いただいた方は、「意次通信」の第8、9、10、11、13、14号に掲載しています。

植田 和雄 様(静岡県袋井市)、岡田 昇 様(静岡県掛川市)、(株)小栗農園 様(静岡県牧之原市)、
(株)神谷鐵工所 様(静岡県牧之原市)、甲賀 温樹 様(神奈川県川崎市)、小塩 瀏蒼 様(静岡県吉田町)、
関根 徳男 様(栃木県佐野市)、(株)竹内鉄工 様(静岡県牧之原市)、田沼 久男 様(神奈川県秦野市)、
平井 敬 様(静岡県牧之原市)、松木 民雄 様(北海道札幌市)

銅像募金の目標金額達成 実行委が牧之原市長に報告



銅像のモデルとなる牧之原市史料館所蔵の肖像画を持つ杉本基久雄牧之原市長（左）、お披露目された銅像のCGデザインを持つ実行委員会の河野研司委員長（中央）、横山裕の副委員長（牧之原市副市長）（右）

「田沼意次侯銅像募金」の結果（概要）

募金総額：8,567,227 円（R3.1.21 時点）

寄 付 者：366 名（個人・企業・団体）

相良城の御城印 史料館「入城券」として販売

相良城の本丸跡地にある牧之原市史料館では、御城印を「入城券」と称して発行しており、人気を集めています。入館券として販売していますので、田沼家史料とともにお楽しみください。

牧之原市史料館 ☎0548-53-2625
〒421-0592 静岡県牧之原市相良 275-2
開館時間：9:00～16:00
休 館 日：月曜日（祝日の場合は開館）
祝日の翌日、年末年始
入 館 料：大人 220 円、小人 110 円（18 歳未満）



銅像台座の銘板が完成 牧之原市史料館に展示

世界を舞台に活躍する書家で、一昨年の意次侯生誕300年記念大祭で書道パフォーマンスを披露してくれた吉永益美さんが揮毫した題書が銅像の銘板として彫刻され、このほど完成しました。銘板は、台座に設置されるまで牧之原市史料館に展示されていますので、ぜひ、田沼家史料とともにご覧ください。



<http://okitsugu.com/>

田沼意次侯に関する
情報はこちらから！



田沼意次侯
PRキャラクター
「意次くん」

田沼意次侯銅像
令和3年5月29日（土）
牧之原市史料館前で除幕予定！